

「旧吹屋小学校校舎」平成～令和の大修理！

— 令和4年4月一般公開への道のり ⑤ —

☎社会教育課 ☎ 21-1516



一部改修された昭和4年の校舎



三間廊下のトラス(骨組み)

歴史遺産の継承と活用へ 4月21日から一般公開

保存修理工事が終わり、県指定重要文化財の校舎を活用しながら将来の人々に受け継ぐ準備が整いました。

本館は下見板張したみいたばりの外壁や軒下の筋違すじかいの表現が特徴的で、小屋組みにはトラス構造が採用されています。設計は、国の重要文化財に指定されている「旧遷せん喬きょう尋常じんじょう小しょう学校がっこう校舎こうしや」(真庭市)などを設計した江川三郎八えがわきぶるうはち(岡山県工師こうし 1860～1939年)が担当しており、明治時代後期を代表する擬洋風の学校建築として評価されています。

昭和25年頃の校舎を再現した校舎には、このような明治時代の建築様式や、その後の改修の歴史、また、本紙で紹介してきたような現代の保存修理技術がたくさん詰まっています。ぜひ新しい吹屋小学校で、見つけてください。



講堂に置かれる「100年オルガン」



「ジャパンレッド」発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋— ⑱

日本遺産に認定された「『ジャパンレッド』発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋—」のストーリーを構成する文化財を紹介します。

「旧吹屋小学校校舎」 岡山県指定重要文化財(建造物)

旧吹屋小学校校舎は、幕府の銅山役所、三菱商会の吉岡銅山本部跡地に建設されました。まず明治33(1900)年に吹屋尋常高等小学校の東西校舎、続いて明治42(1909)年に2階建ての本館が建てられ、平成24(2012)年3月の閉校まで、国内最古の現役木造校舎でした。

このたび7年間の保存修理工事を終えて、4月21日(木)から一般公開を開始します。吹屋観光の新たな拠点施設として、大人と子どもが楽しみながら歴史と文化を学び、地域と交流できる場に生まれ変わります。

旧校舎内には在りし日の懐かしい教室を再現し、各種の教材や学校名物の版画カレンダーなどを展示するほか、日本遺産のストーリーを疑似体験できるMRグラスが導入される予定です。また、歴史的建造物であり旧小学校校舎ならではの各種イベントも企画されます。

皆さん、ぜひ旧吹屋小学校校舎にお越しいただき、併せて吹屋の町並みをお楽しみください。



☎高梁市日本遺産推進協議会事務局(日本遺産・歴まち推進室) ☎ 21-0257



明治40年代後半～大正期の校舎



旧吹屋小学校校舎本館(修理前)